



R 2・10・19

ねんせい あめ ま まな 3年生、雨にも負けず学びました。

先日、2年生が生活科の探検学習に出掛けましたが、続いて3年生も社会科の学習のために、地域の工場や史跡の見学に行ってきました。天候が心配でしたが、施設内での学習が多いことから、予定どおり出掛けることにしました。どの子ども、教室内では学べない、本物を見て確かめられる学習にわくわくでした。前日には、「明日は楽しみ。」
「シラスをどんなふうにするのかな。」などの声も聞こえてきました。

当日は、やはりあいにくの雨となりましたが、「しっぺい号」に子供たちは意気揚々と乗り込み、目的地であるメロン出荷場やシラス工場へと出発しました。実は、昨年、おみやげをいただいた場所もありましたが、今年はコロナ禍のため、遠慮しました。残念でしたが、初めて見る工場内の様子は学びの大きなおみやげとなりました。将来、こんな仕事をしてみたいという子もいたのではないのでしょうか。

学区内の史跡である行興寺も、見学地であったため、昼食は学校の体育館でとりました。本来なら、福田公園と計画していたのですが、こちらに変更しての時間となりました。体育館でお弁当の機会もほとんどないため、小さな充実感を味わったようです。



高級なメロンの栽培や出荷されていく仕組みを、丁寧に伝えていただきました。

シラス工場の機械に、興味津々の見学となりました。

・・・校長より・・・